

何？

“あの言葉”の本当の意味
誰かに教えたくてたまらなくなる

バーラフの肉

金澤信幸
Nobuyuki Kanazawa





講談社文庫

常州大学图书馆
藏肉の本ラつて何？

誰かに教えたくてたまらなくなる“あの言葉”的本当の意味

金澤信幸

講談社

|著者| 金澤信幸 1955年東京都生まれ。法政大学卒業後、編集プロダクション、雑誌編集部を経て、フリーの編集者に。これまでに『昭和広告60年史』(講談社)、『盛田昭夫語録』(小学館文庫)、『学問のしくみ事典』(日本実業出版社)、『ぴあシネマクラブ』『吉田拓郎HISTORY』(共にぴあ)などの編集に携わる。

にく なに バラ肉のバラって何?

だれ
誰かに教えたくてたまらなくなる“あの言葉”的本の本当の意味

かなざわのぶゆき
金澤信幸

© Nobuyuki Kanazawa 2013

2013年6月14日第1刷発行

2014年7月1日第2刷発行

発行者——鈴木 哲

発行所——株式会社 講談社

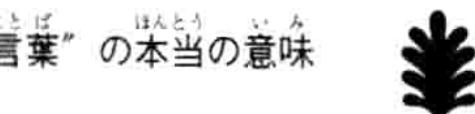
東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001

電話 出版部 (03) 5395-3510

販売部 (03) 5395-5817

業務部 (03) 5395-3615

Printed in Japan



講談社文庫

定価はカバーに
表示しております

デザイン——菊地信義

本文データ制作——講談社デジタル製作部

カバー・表紙印刷——大日本印刷株式会社

本文印刷・製本——株式会社講談社

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。送料は小社負担にてお取替えします。なお、この本の内容についてのお問い合わせは講談社文庫出版部あてにお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

ISBN978-4-06-277594-6

バラ肉のバラって何？

目次

折り紙付きの折り紙つて

お茶目の茶目つて

土壇場の土壇つて

ケチを付けるのケチつて

HするのHつて

ほくそ笑むのほくそつて
やんちゃな子のやんちゃつて
おべつかを使うのおべつかつて
やまをはるのやまつて

肩書の肩つて

面白いの面つて
もつたいないのもつたいつて
だらしないのだらしつて

おくびにも出さないのおくびつて
綺羅星のごとくの綺羅つて

万引きの万つて

せつないのせつつて

チャキチャキの江戸っ子のチャキチャキつ

ひとりぼつちのぼつちつて
おじやんになるのおじやんつて
はめをはずすのはめつて
どんちゃん騒ぎのどんちゃんつて
ゆびきりゲンマンのゲンマンつて
もつけの幸いのもつけつて
バッタ屋、バッタもんのバッタつて
験が良いの験つて
コケにするのコケつて
むしづが走るのむしづつて
へのかつぱつて
四六時中の四六時つて
どんぶり勘定のどんぶりつて
灯台下暗しの灯台つて
とどのつまりのとどつて
えこひいきのえこつて
かきいれ時のかきつて

て

まどろっこしいのまどろっこつて

みつともないのみつともつて

べらんめえ言葉のべらんめえつて

しあさつてのしつて

大盤振る舞いの大盤つて

一生懸命の一生つて

こまつしやくれたのこまつしゃくれつて

へんてこのてこつて

とんずらするのとんずらつて

ビビるのビビつて

お鉢が回つてくるのお鉢つて

ひとしおのしおつて

ぶつきらぼうのぶつきらつて

度し難いの度つて

とちるのとちつて

しつペ返しのしつペつて

糊口をしのぐの糊口つて

海千山千の千つて

辻棲が合うの辻棲つて

くだを巻くのくだつて
ぐれるのぐれつて

ペーぺーの新人のペーぺーつて

溜飲が下がるの溜飲つて

うるう年のうるうつて

へそくりのへそつて

へそを曲げるのへそつて

しち面倒くさいのしちつて

ほうほうのていのほうほうつて

年寄りの冷や水の冷や水つて

長いものには巻かれろの長いものつて

与太話の与太つて

野次馬の野次つて

半畳を入れるの半畳つて

横紙破りの横紙つて

金に糸目を付けないの糸目つて

朝っぱらのばらつて

長丁場の丁場つて

もぬけの殻のもぬけつて

元旦の旦つて

大団円の団円つて

木で鼻をくくるつて
顰みに倣うの顰みつて

第2章 外来語に由来する言葉

067

スイートルームのスイートつて
学ランのランつて
フリーマーケットのフリーつて
プラスアルファのアルファつて
サボるのサボつて
ハングルつて
超ど級のど級つて
ハイジヤックのハイつて
コネ入社のコネつて
ハイカラ、バンカラのカラつて
セレブな人のセレブつて
セピア色のセピアつて
合コンのコンつて

グッドバイのグッドつて
ペケ印のペケつて

第3章 名前に関する言葉

079

私立探偵の私立つて
あみだくじのあみだつて
源氏名の源氏つて
国務長官の国務つて
公認会計士の公認つて
純喫茶の純つて
大学イモ、大学ノートの大学つて
段ボールのボールつて
単車の單つて
ゲラ刷りのゲラつて
ピーくんのピーくんつて
カタカナのカタつて
ヤンママのヤンつて
学生時代の学生つて
ビー玉のビーつて

第4章 食に関する言葉 107

ベーゴマのベーつて
しもた屋のしもたつて
あずまやのあずまつて
確信犯の確信つて

鳶職の鳶つて

カクテル光線のカクテルつて

百葉箱の百葉つて

演歌の演つて

パンクロックのパンクつて

帝王切開の帝王つて

アタッシェースのアタッシェつて

はとこのはとつて

テキ屋のテキつて

ママチャリのチャリつて

地下足袋の地下つて

おたく族のおたくつて

タンクローリーのローリーつて

ちよんまげのちよんつて

左官屋の左官つて

焼き鳥、焼き豚のハツつて、ガツつて
シーザーサラダのシーザーつて

西京味噌の西京つて

高野豆腐の高野つて

ポン酢のポンつて

竜田揚げの竜田つて

チヨコレートパフェのパフェつて

カフエラテのラテつて

鴨なんばん、カレーなんばんのなんばんつて

鉄火巻きの鉄火つて

食パンの食つて

サラダせんべいのサラダつて

柚子胡椒の胡椒つて

せんろつぽんのろつぽんつて
コッペパンのコッペつて

バラ肉のバラつて

明太子の**明太**つて

ねぎまの**まつて**

てつちりの**てつ**つて

シベリア菓子の**シベリア**つて

南高梅の**南高**つて

ショートケーキの**ショート**つて

久助せんべいの**久助**つて

大正海老の**大正**つて

カルボナーラの**カルボ**つて

ちりめんじやこの**ちりめん**つて

冷や奴の**奴**つて

かやくご飯のかやくつて

まな板の**まな**つて

タルタルソースの**タルタル**つて

シュークリームの**シュー**つて

パウンドケーキの**パウンド**つて

バウムクーヘンの**バウム**つて

オムレツの**オム**つて

ごちそうの**ちそ**うつて

あべかわ餅の**あべかわ**つて

ういろいろ菓子の**ういろ**うつて

ハヤシライスの**ハヤシ**つて

きやらぶきの**きやら**つて

番茶の**番**つて

刺身のつまの**つま**つて

べつたら漬けの**べつたら**つて

ナスのしげ焼きの**しげ**つて

バツテラ寿司の**バツテラ**つて

たぬきそばの**たぬき**つて

柳川鍋の**柳川**つて

もんじや焼きの**もんじや**つて

みたらし団子の**みたらし**つて

フルーツポンチの**ポンチ**つて

コンピーフの**コン**つて

小倉あんの**小倉**つて

今川焼の**今川**つて

懷石料理の**懷石**つて

いかもの食いの**いか**つて

三平汁の三平つて

しば漬けのしばつて

田作りの田つて

チキンナゲットのナゲットつて

レトルト食品のレトルトつて

ソルティドッグのドッグつて

割烹着の割烹つて

第5章 動物・植物・天候に関する言葉

157

ソメイヨシノのソメイつて
ごり押しのごりつて

にべもないのにべつて

毛嫌いするの毛つて

ねこばばのばばつて

ホースラディッシュのホースつて

サニーレタスのサニーつて

ペんぺん草のペんぺんつて
ハツカネズミのハツカつて

男爵いもの男爵つて

ほうれん草のほうれんつて

小松菜の小松つて

インドリンゴのインドつて

温州みかんの温州つて

シバエビのシバつて

関さば、関あじの関つて

カモシカのカモつて

ハトムギのハトつて

ランゲルハンス島の島つて

アメンボのアメつて

きゅうりのきつて

松ぼっくりのぼっくりつて

小春日和の小春つて

九官鳥の九官つて

犬の名前のポチつて
どどめ色のどどめつて

柴犬の柴つて

ピロリ菌のピロリつて
プロッケン現象のプロッケンつて

ニタリ貝のニタリつて

オニヤンマのヤンマつて

パッショントフルーツのパッションつて

マスクメロンのマスクつて

アンデスマロンのアンデスつて

タラバガニのタラバ、ズワイガニのズワ

イつて

ハンドウイルカのハンドウつて

フジツボのフジつて

あこう鯛のあこうつて

舌平目の舌つて

シロツメクサのシロツメつて

ドウダンツツジのドウダンつて

ハマナスのナスつて

アイガモのアイつて

第6章 芸能に関する言葉

191

幕の内弁当の幕の内つて

助六寿司の助六つて

色物つて

どさ回り、どさくさのどさつて

どんでん返しのどんでんつて

阿漕あこぎな仕打ちの阿漕あこぎつて

さわりの部分のさわりつて

めりはりのめりつて

際物の際つて

けれんみのけれんつて

かん高いのかんつて

正念場の正念つて

ソップ型のソップ、あんこ型のあんこつて

ダンクシュー卜のダンクつて

ドッジボールのドッジつて

第7章 スポーツに関する言葉

201

ちゃんこ鍋のちゃんこつて
バラリンピックのバラつて

しこ名のしこつて

ダービーマッチのダービーつて

ハーラーダービーのハーラーつて

バレーボールのバレーつて

ブービー賞のブービーつて

サウスポーのポーつて

はつけよい残つたのはつけよいつて

グレコローマンのグレコつて

グランドスラムのスラムつて

フットサルのサルつて

第8章 ギャンブルに関する言葉

217

第9章 ファッションに関する言葉

221

カツターシャツのカツターつて

ワイシャツのワイつて

スカジャンのスカつて

ジャージ服のジャージつて

チノパンのチノつて

ピーコートのピーつて

トレントコートのトレントつて

ネルシャツのネルつて

衣紋掛けの衣紋つて

ケリーバッグのケリーつて

サブリナパンツ、サブリナシューズのサブ

リナつて

ビキニ水着のビキニつて

タンクトップのタンクつて

カーキ色のカーキつて

ギンガムチェックのギンガムつて

セシルカットのセシルつて

ため口のためつて
連チャンのチャンつて
テンパーのテンパつて
安全パイのパイつて

ペイズリー柄のペイズリーつて
ヘリンボーンのヘリンつて
アイビールックのアイビーつて
一張羅の羅つて
縞模様の縞つて
レジメンタル模様のレジメンタルつて
江戸前寿司の江戸前つて

第10章 文学・歴史・地理に関する言葉

239

弥生時代の弥生つて
判官びいきの判官つて
天王山の戦いの天王山つて
金字塔を打ち建てるの金字塔つて
白系ロシアの白系つて
江戸前寿司の江戸前つて
銀ブラのブラつて
ロマンチック街道のロマンチックつて
豪州の豪つて
太平洋の太平つて
一口坂の一口つて
関の山の關つて、山つて
湘南地方の湘つて
パキスタン、アフガニスタンのスタンつて
中国地方の中国つて
二重橋の二重つて
赤坂見附の見附つて
越前・越後の前・後つて
上方の上つて
おとぎ話のおとぎつて
下町の下つて
敵のアジトのアジトつて

第11章 人名に由来する言葉

263

ヘボン式ローマ字のヘボンつて

松花堂弁当の松花堂つて

市松模様、市松人形の市松つて

S MのMつて

きんぴらごぼうのきんぴらつて

備長炭の備長つて

行平鍋の行平つて

ティベアのティイつて

セ氏のセつて

せつしゅうするのせつしゅうつて

プラトニックラブのプラトニックつて

参考文献



講談社文庫

バラ肉のバラって何？

誰かに教えたくてたまらなくなる“あの言葉”的本当の意味

金澤信幸

講談社

バラ肉のバラって何？

目次